

科目名	ウィメンズヘルス看護学演習Ⅲ Seminer on women's health nursing Ⅲ
授業形態	演習
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	秋 ABC 月曜日 5・6限
単位数	3単位
担当教員名	川野 亜津子 Atsuko Kawano 岡山 久代 Hisayo Okayama 金澤 悠喜 Yuki Kanazawa
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント (TA)	なし
オフィスアワー等	オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること 川野亜津子 AKAWANO@md.tsukuba.ac.jp 岡山久代 okayama@md.tsukuba.ac.jp 金澤悠喜 ykanazawa@md.tsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	(1) 関心分野に関する文献を系統的に検索し、客観的なクリティークができる (2) 研究課題に関する基本概念を整理し、発表することができる (3) 自らの研究課題を関連研究の中に位置づけ、研究の必然性と探求の意義をまとめて発表することができる (4) 研究計画書および倫理審査書類が作成できる
他の授業科目との関連	助産師教育課程履修者は必修
履修条件	なし
授業概要	母性看護学・助産学領域における看護実践や文献等から研究テーマを見出し、課題に則した研究デザイン、研究計画を検討し、自らが取り組むべき研究課題を探求できる
キーワード	助産学研究 Midwifery Research 文献クリティーク Critique 研究計画 Research Plan

授業計画	<p>1 (10/7 5限)母性看護学・助産学領域における課題の探索(岡山)</p> <p>2 (10/7 6限)母性看護学・助産学領域における課題の探索(岡山)</p> <p>3 (10/21 5限)リサーチ・クエスションの明確化(岡山)</p> <p>4 (10/21 6限)リサーチ・クエスションの明確化(岡山)</p> <p>5 (10/28 5限)研究デザインの作成(川野)</p> <p>6 (10/28 6限)研究デザインの作成(川野)</p> <p>7 (11/11 5限)研究デザインの作成(川野)</p> <p>8 (11/11 6限)研究デザインの作成(川野)</p> <p>9 (11/18 5限)課題研究の計画と検討、倫理審査書類の作成(金澤)</p> <p>10 (11/18 6限)課題研究の計画と検討、倫理審査書類の作成(金澤)</p> <p>11 (11/25 5限)課題研究の計画と検討、倫理審査書類の作成(金澤)</p> <p>12 (11/25 6限)課題研究の計画と検討、倫理審査書類の作成(金澤)</p> <p>13 (12/2 5限)課題研究の計画と検討、倫理審査書類の作成(川野)</p> <p>14 (12/2 6限)課題研究の計画と検討、倫理審査書類の作成(川野)</p> <p>15 (12/9 5限)中間発表(川野)</p> <p>16 (12/9 6限)中間発表(川野)</p> <p>17 (12/16 5限)課題研究の計画と検討、倫理審査書類の作成(川野)</p> <p>18 (12/16 6限)課題研究の計画と検討、倫理審査書類の作成(川野)</p> <p>19 (1/6 5限)課題研究の計画と検討、倫理審査書類の作成(川野)</p> <p>20 (1/6 6限)課題研究の計画と検討、倫理審査書類の作成(川野)</p> <p>21 (1/20 5限)課題研究の計画と検討、倫理審査書類の作成(川野・岡山・金澤)</p> <p>22 (1/20 6限)課題研究の計画と検討、倫理審査書類の作成(川野・岡山・金澤)</p> <p>23 (1/27 5限)課題研究の計画と検討、倫理審査書類の作成(川野・岡山・金澤)</p> <p>24 (1/27 6限)研究計画書検討会(川野・岡山・金澤)</p> <p>25 (2/3 5限)研究計画書検討会(川野・岡山・金澤)</p> <p>26 (2/3 6限)課題研究の計画と検討、倫理審査書類の作成(川野・岡山・金澤)</p> <p>27 (2/10 5限)課題研究の計画と検討、倫理審査書類の作成(川野・岡山・金澤)</p> <p>28 (2/10 6限)課題研究の計画と検討、倫理審査書類の作成(川野・岡山・金澤)</p> <p>29 (2/17 5限)研究計画書の発表(川野・岡山・金澤)</p> <p>30 (2/19 6限)性成熟期女性の感染症について(岡山・川野・金澤)</p>
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	関わる文献を活用し、理解を深める
成績評価方法	<p>講義の2/3以上の出席を以て評価を受けることができる</p> <p>授業の到達目標の達成状況60%, 授業内での発表内容・参加状況40%</p> <p><評価基準></p> <p>評価の視点は以下のとおりである</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 適切な問題を設定できる 2 設定した問題の背景を説明できる 3 設定した問題に対してどのような課題があるのかを指摘できる 4 その解決策について、先行研究がどのように述べているかを挙げるができる 5 既存の意見をふまえて、自らの考えを述べるができる <p>上記に対応した評価基準は以下のとおりである</p> <p>A+ 上記1～7を自身で達成できる</p> <p>A 上記1～7をほぼ自身で達成できる</p> <p>B 上記1～7を教員の指導を受けながら達成できる</p> <p>C 上記1～7を教員の指導を受けながら概ね達成できる</p> <p>D 上記1～7について教員の指導のもとでも達成できない</p>
教材・参考文献・配布資料等	特に定めない
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	